

## 平成 20 年度高教研情報部会 研究大会発表

### 「情報社会における心構え」

富山県立 南砺総合高等学校 平高等学校 高田立

日時：平成 20 年度 11 月 12 日（水）

場所：富山県総合教育センター382 研修室

#### ・「インターネットの始まり」

1969 年、冷戦時代のアメリカ合衆国、防総省で「アーパネット」（“ARPANET”）が開発された。研究および調査を目的として設けられたコンピュータネットワークである。今日のインターネットの原型として知られている。特定多数の人が意見や情報を交換する優れたシステムが研究開発された

#### ・ ARPANET（アーパネット）説明のポイント

- ・ 当時、高価だったメインフレームを（生徒にはコンピュータと説明）をシェアリング技術から派生した技術。
- ・ 情報やプログラムを共有する事により様々な意見を取り入れることができるようになったこと。
- ・ 核戦争とはあんまり関係ないらしい。（余談）

#### ・「日本におけるインターネットの始まり」

80 年代後半より世界中の大学でインターネットを使い研究成果等の情報公表、情報交換しようとする機運が高まる

1992 年 9 月 30 日現在の大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構によって作成された [KEK Information](#) というタイトルの WWW のページがサーバー上に置かれた。

1995 年、インターネット利用に便利な Windows 9 5 発売

インターネット接続サービスを行なうプロバイダーの出現

パソコン通信利用者を中心にインターネットの一般利用が始まる

ポータルサイトの出現によりインターネットの利便性は飛躍的に向上し、利用者はうなぎのぼりとなる。

- ・説明のポイント

- ・それまでもパソコン通信などというものが在ったが一部のマニアのための会員制の掲示板のようなものであってここで始めて不特定多数の一般の人々が関わるようになった。

- ・多くの人が関わることで商業ベースに乗り、人の数が多くなることでさらに安く、手軽になっていった。

：誰もが情報を受け取れる。そして誰でも発信できる

：匿名性(相手が見えない。)・誰かになりすませる

どんな問題があり、どのような対策や解決方法、  
また課題があるのか調べてみよう

情報の信憑

著作権肖像

テクノ依存症



サイバー犯罪

ネットいじめ

以上引用「ネット社会の歩き方

<http://www.cec.or.jp/net-walk/>

- ・終わりに

生徒たちには別紙のプリントを渡し、グループで調べさせ、パワーポイントでプレゼテーションを作成させ、発表を行い、それぞれに採点している。

特に携帯電話のカメラが発達し、プロフなどが手軽に携帯電話から開設することが高校生達に流行る昨今、自分たちで調べ、講評することにより、上記のような問題は身近な問題として捉えてくれるようである。身近な問題として捉えることにより、自己解決に至るスキルを身につけさせることにつなげたい。

テーマ 「  
」

メンバー \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

1. 現状報告

2. 問題の背景

3. 将来への展望

**情報C 発表評価シート**

H 番 名前

[illegible]